

..... 編集後記

◆秋も深まってきました。

今月号の表紙は、(株)建設技術センターの水鳥隆志氏のご提供によるものです。仲介の労をとっていただいた同センターの阿部智彦氏とともにご協力を感じたいします。とくに変わった地質学的意義があるわけではありませんが、教科書的な見事な小断層露頭の写真です。こうした露頭はすぐに被覆されたりしてなかなか記録に残りにくい物です。チャンスをとらえて記録していただくには現地地質関係者に勝るものはありません。著者は現地で補足的調査をなさり掲載写真以外にも数多くの写真を熱心に送っていただきました。今後とも機会がありましたらご投稿ください。

◆グラビアは地質標本館提供の標本写真のシリーズの一環です。豊標本館長にはご多忙中、あらたに写真を撮っていただき感謝しております。

◆巻頭エッセイは小玉地質部長にお願いしました。8月号からの新たな試みの1つである本エッセイは別に所議メンバーに限るものではありませんので、所員の皆様の投稿をお待ちしています。気楽にお書き下さい。

◆今月号はとくに特集とはいたしませんでしたが、1つの目玉は地質情報に関連する3つの投稿です。第1はGEOLISです。地質情報検索にあたってGEOLISの有効さは知る人ぞ知るものですが、より多くの人にその存在と意義を知っていただくことが必要でしょう。今回は所外からGEOLISをながめていただきました。次の元所員の岡野氏による戦前の地質図類のインデックスは力作です。ややもすれば情報化という看板のみが一人歩きしがちです

が、こうした地道な情報基盤整備が不可欠なものであることは論をまたないでしょう。北海道支所の白髭氏による目録も上記と同様な意図と価値をもってします。

◆このほかにはバラエティーに富んだ投稿です。考古学への地質学の貢献は最近の地震考古学を始めとして盛んになりつつある学際領域の1つです。吉川・赤井両氏による遺跡の石を地質学的に追跡した記事はいかがでしょうか。こうした分野の記事をのせるには地質ニュースが最も適当ではないかと自画自賛しています。今後とも皆様のご投稿をお待ちします。

◆水圧破碎について物理的側面から中島氏にレビューしていただきました。かなり読みごたえのある記事ですが、クラックの伝播は狭義の地質学のみならずきわめて多方面で研究対象になっている分野で、幅広い読者の皆様の関心をよぶのではないかと思います。じっくりお読みください。

◆日本の地震学史上特筆されるべき巨人ともいえる今村恒明氏の研究と地震予知をめぐる話題を西澤氏にまとめていただきました。地震に対する関心が高まっている折、先駆者の業績を振り返ってみるのも必要かもしれません。この査読に際しては、建築研究所の石橋克彦氏と元所員の鈴木尉元氏にお願いいたしました。適切なお意見等いただきありがとうございます。

◆また、島野・永井両氏による日本水紀行はシリーズの一環として楽しい読物となっています。その豊富な知識と現地調査には脱帽です。お楽しみ下さい。

〈編集委員長 加藤碩一記〉

地質ニュース編集委員会

委員長：加藤碩一

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井登・岡村行信・杉原光彦・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（山崎 浩・清水真寿美）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第494号 1995年 10月号
	定価 ¥ 770 千実費
1995年10月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	株式会社実業公報社
	代表者 林 光生
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段北1の7の8
	Tel. (03)3265-0951 (代表) 〒 102
	振替口座 00110-6-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	小宮山印刷工業株式会社

©1995 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。